

1. 平成20年度より向こう5年間安来市よりの指定管理の要請を受け、協定に基づき安来市加納美術館の運営管理と収蔵品の保持保存業務を行うとともに、安来市の文化振興に努める
2. 当館の収蔵する陶磁器、日本画、油彩、墨彩画、書、彫像、木工彫刻、水彩画の美術作品の展示およびそれらに関する学術講演会を実施する
3. 展示および講演会などの宣伝、啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、電柱広告などにより行う
4. 24年度は次のイベントを行う
  - ① 常設展示
 

前期(1月～6月)	山本陶秀「土と炎のハーモニー」
後期(7月～12月)	金重陶陽・安倍安人展「桃山から現代へ」
  - ② 企画展
 

(1月～3月) 郷土の偉人細田育宏展	(1月～4月) 池田遙邨展
(4月～5月) 井上尠展、同講演会	(5月～7月) 青戸慧展、同講演会
(6月～9月) 加納莞菴展「平和への祈り」	(8月～12月) 小野竹喬展
(10月～12月) 郷土の偉人西田明史展	
5. 美術館のサービスの向上→癒しとくつろぎのある美術館を目指して
  - ① 来館者への抹茶献茶によるもてなしの充実を図る
  - ② どじょっこTV、NHKの協力を得て展示品を映像などで詳しく説明する
  - ③ 学芸員、スタッフによる親切丁寧な解説、説明
6. 公益法人化による運営の活性化
  - ① 新体制の役員による仕事の分担化。イベントごとの担当理事を決める
  - ② 中期3か年計画の策定（加納莞菴の戦争記録画の里帰り作戦など含む）
7. 地域振興事業の推進
  - ① 学校、公民館などとの連携による美術、郷土の文化学習の啓発
  - ② 県ミュージアム協議会、文化事業団体などとの連携による地域文化の振興
  - ③ 和鋼博物館、さぎの湯温泉、夢ランドなどとの連携
8. 作品、建屋、設備機器の修復
  - ① エレベーターの修復
  - ② 作品、建屋の中長期修理修復計画の立案と予算化
9. 経費節減のための諸策の実行
  - ① 労務費の削減（1名減）
  - ② 省エネ→照明のLED化、エアコンの定期的清掃